

Title	津田誠一氏逝く
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1926
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.20, No.6 (1926. 6) ,p.796(106)- 797(107)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19260601-0106

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

津田誠一氏逝く

慶應義塾經濟學部助教津田誠一君逝く。

氏は明治二十九年六月八日を以て大阪市南區に生れ、同市第一上福島尋常高等小學校を経て、同四十二年東京北中學校に學び、大正三年之れを卒へ、翌四年慶應義塾大學部豫科に入學せるも、翌年病魔の冒す所となりて二年間休學の已むなきに至り、遅れて大正十一年優秀の成績を以て經濟學部を卒業し、直ちに故阿部秀助教授の推薦によりて同學部助手に就任し、其後、義塾商工學校並びに大學豫科に於て經濟原論を講ずると共に、自家研究の結果を斷えず三田學會雜誌上に發表して漸次我が經濟學界の認むる所と爲らんとしつゝありしが、昨大正十四年七月、不幸にして大患再發し、藥石効なく本年四月二十一日午前五時、麴町内幸町の自宅に於て長逝す、享年僅かに三十一。

君が研究論文は悉く收めて本誌にあり。最も早く發表せられたるものは「トーマス・ロバート・マルサスの人口論」を形成す可き「政治的正義」と「人口論」(第十七卷第一號)「人口論」の原理と政策(同第二號)「人口論」の哲學思想(同第三號)及び「人口論」批判(同第四、五號)なり、次いで第十七卷第九號及十號には「リカアド地代學說の先蹤」を、第十八卷第二、三及び四號には「リカアドオ派社會主義概論」を寄せ、同卷第七號より第十一號に亘りて、佛蘭西經濟學に於ける價值論の發達」を連載し、更らに第十九卷第三號には「正統學派の賃銀論」を、同卷第六號には「正統學派の利潤論」を

掲げたり。其の餘尙は時事新報出版部の需に應じて、同部の刊行せる「商工實務」講義録の爲めに、初學者の手引として起草せる「經濟學原論」あり。恰も病前六月を以て完成せり。別に小泉教授を中心とせるマルサス「人口論」翻譯の業に加はりつゝありしも、終に自己の擔任せる部分を譯了することなくして逝けり。

君、資性熾烈、學業に邁進して休まず、極めて短少なる年月の間に比較的多大なる業績を挙げ、他日の大成、期して待つ可きものありしに天、無情にして齡を藉さず、而立の壯年期を以て其の生涯を終る。眞に痛歎す可きの極なり。

(高橋誠一郎謹記)